



明けましておめでとうございませう。



沖縄県商工会連合会
会長 萩堂盛秀

新年あけましておめでとうございませう。皆様には、平成二十年の輝かしい新年をお迎えのことと衷心よりお慶び申し上げますとともに、本会の事業推進並びに組織運営に多大なご支援、ご協力を賜り感謝を申し上げます。

さて、昨年の県内景況は、個人消費や、観光が好調で緩やかながら拡大を続けているといわれる中、中小企業においては特に建設業を中心に関連する業種で景況が悪化するなど、私も商工会地区のほとんどを占めている小規模事業者にとつては、引き続き厳しい状況が続いております。

商工会は、こうした現状を受け、これまで以上に地域事業者への巡回訪問の強化や、中小企業の生産性向上対策、会員サービス向上等に積極的に取り組み、地域経済の再生や振興発展に貢献していくことが求められております。

このような中で、本会では、「小規模企業支援機関としての機能を強化しよう」と

のスローガンの下に、商工会の組織強化及び会員サービスと財政基盤強化を図るとともに、創業・経営革新支援対策や、人事評価制度の徹底や処遇反映の調査研究などの事業を積極的に推進してまいりました。

また、経営革新支援においては、与那原町商工会がその先進的な取り組みが評価され、先駆的の事業優良商工会として昨年十一月の商工会全国大会において、全国で唯一の表彰を受賞されるなど、明るい話題もありました。

そして、商工会全国大会においては、商工会組織に対する更なる支援、地域小規模事業者の支援措置の強化、小規模企業

支援事業・生産性向上対策の確実な執行など当面の課題について決議し、その実現に向けて関係方面へ要請するとともに、自らも地域における商工会の存在意義のアピールや、信頼度の向上に努めているところでもあります。

今後とも、二十四商工会及び約二万会員、役員、青年部、女性部の総力を結集し組織の強化、財政基盤の強化に努め山積する諸課題に対処してまいりたいと思っております。

結びになりましたが、皆さまのご多幸とご健勝を心から祈りまして、年頭のご挨拶といたします。

平成二十年 元旦



沖縄県
知事 仲井眞弘多

新年おめでとうございませう。県民の皆様には、希望に満ちた晴れやかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は、多くの県民の力強い御支持により知事へ就任して以来、「経済の自立な

くして沖縄の自立なし」との強い決意を持って、雇用の創出・拡大等に取り組みますとともに、過重な米軍基地負担の軽減など、「平和で安らぎと活力ある沖縄県」の実現に向け、全力で県政運営に当たってまいりました。

昨年は、観光や情報通信関連産業などが好調で、民間主導の自立型経済の構築に向けて、着実な進展が見られました。しかしながら、若者を中心とする高い失業率や本土との所得格差など、依然として多くの課題を抱えております。

このため、本県の完全失業率を、まず全国並に改善することを基本目標に、産業・雇用拡大県民運動(みんなでグッドジョブ運

動)を展開しました。

また、沖縄の新たな芸術と文化の拠点を目指す「沖縄県立博物館・美術館」も開館いたしました。

本年は、これまでの沖縄振興諸施策の成果を踏まえ、施策及び事業実施の加速化を図り、新たな飛躍を図る年にしたいと考えております。

引き続き産業・雇用の拡大を図り、失業率の改善に努めますとともに、「IT津梁パーク整備構想」を推進することにより、情報通信産業の「集積空間」の形成を目指してまいります。

また、「第四回沖縄平和賞」を実施し、沖縄から平和を発信いたします。

普天間飛行場の代替施設をめぐる問題につきましては、同飛行場の二年を目的とした危険性の除去等を求めてまいりますとともに、地元の見解等を踏まえまして、政府と協議を重ね、早急に解決を図ってまいりたいと考えております。

今後とも、沖縄がアジア太平洋諸国地域の交流拠点「アジア・ゲートウェイ」として、自立した経済の下で発展していけるよう、県民の皆様の御理解と御協力を得ながら、取り組んでまいりたいと思っております。

新しい年が、県民の皆様にとってよい年になりますよう、祈念しまして、新年のごあいさつといたします。

平成二十年二月一日